

# 翻訳を見越したライティング: 編集者向けチェックリスト

世界中のオーディエンスに向けて新しいコンテンツ (英語版) を制作する際は、グローバルな中立性を確保するため、コンテンツの公開や翻訳前に以下の重要なポイントを確認してください。これを行わないと、メッセージの誤解や誤翻訳につながるリスクが高まります。

## 1 文章は簡潔か

文章を理解しやすくすると同時に、翻訳を容易にするため、1文に含まれる単語数は最大でも15～20語程度にします。

## 2 可能な限り標準的な英語の語順に従っているか

これは主語、動詞、目的語に、それぞれ付随する修飾語を添えることを意味します。必ず校正を行い、一般的な文法や句読点が正確かどうかをチェックするようにしましょう。誤字脱字は信頼性を損ない、翻訳にも影響を及ぼす場合があります。

## 3 複数の名詞が連続するフレーズは分割できないか

こうしたフレーズは混乱を招き、誤解を生んだり、不自然な直訳調で訳されたりする場合があります。たとえば、「The computer monitor sun glare (パソコンのモニターの日光のグレア)」とは書かないようにしましょう。「The sun glare on the computer monitor (日光によるパソコンモニター上のグレア)」などとしたほうがわかりやすくなります。

## 4 1つのコンセプトを1つの用語で表しているか

類義語を使用すると、明瞭さが損なわれるだけでなく、翻訳メモリも活用できなくなり、結果的に翻訳コストの増加や納期の延長につながります。

## 5 ユーモアは避けたか

翻訳において、ユーモア表現が同じように置き換えられることはめったにありません。ある文化圏でのユーモア表現が、他の文化圏では不快な表現になる場合もあります。

## 6 日付、時刻、単位系は明確か

換算値を含める必要はあるでしょうか。また、「7/9/2025」という日付は7月と9月のどちらを表しているのでしょうか。スタイルガイドでは大きな数値、単位系、時間、電話番号、通貨などの取り扱いを規定し、表記の一貫性を保つ必要があります。

## 7 適切な関係代名詞 (英語の場合は「THAT」や「WHICH」など) を含めたか

これらは必ずしも必要ではないにせよ、使用することで読者の理解度が高まる場合があります。「The software that he licensed expires tomorrow.」という文章は、「The software he licensed expires tomorrow.」よりも明確になります。

## 8 文章はみな能動態で書かれているか

文章は能動態のほうがより直接的でわかりやすく、翻訳も容易になります。英語のテキストなら、文章中で「was」や「by」といった語が使われていないかを検索してみると、受動態の表現を見つけ出せることがあります。

## 9 句動詞は一語の動詞に置き換えたか

句動詞とは、「put down」や「put off」のように、複数の語で構成される動詞表現のことです。これらは英語ではそれぞれ明確に異なる意味を持ちますが、翻訳では文章が煩雑になる場合があります。「put down」(置く)なら「place」、「put off」(先延ばしにする)なら「procrastinate」など、1つの単語を使うようにしましょう。

## 10 慣用句はすべて削除したか

慣用句はほとんどの場合、直訳することができません。たとえばフランス語の「les carottes sont cuites」という表現は、英語では「the carrots are cooked」(ニンジンが煮えた)となります。この表現を適切に言い換えるなら、「済んだことは仕方ない」、「覆水盆に返らず」といったところですが、慣用句は文脈によって微妙に意味合いが異なる可能性があります。混乱を避けるため、慣用句は文章から取り除くようにしましょう。

## お問い合わせ

ライオンブリッジが提供する各種サービスにご興味があれば、ぜひお気軽にお問い合わせください。当社は幅広いコンテンツサービスと言語サービスを提供し、包括的なコンテンツソリューションでお客様を支援しています。

詳しくはこちら  
LIONBRIDGE.COM